



長久手市議会議員

佐野尚人

Naoto Sano



長久手市議会議員

山田けんたろう

Kentaro Yamada



長久手市議会議員

なかじま和代

Kazuyo Nakajima



長久手グローバルネットとして二年目となる一年間でしたが、会派視察、議会報告会、街頭活動など会派としての活動をしっかりと重ねることができました。市民協働と丸投げが混在している感もある吉田市政ではありますが、市長の理念を市民が共有できるよう具体的な提言を続けていきます。今後ともご意見賜われますようよろしくお願いいたします。

<http://nagakute-global.net>
バックナンバーはこちらからご覧いただけます

会派報告

11月19日会派長久手グローバルネットの議会報告会を開催しました。

会派にいただいたご要望について

ジュニアバドミントンクラブよりバドミントン部創設の要望

全国大会に出場するなど活躍が目覚ましいジュニアバドミントンクラブだが、小中学校に部やクラブがなく、継続的な活動ができないため、部・クラブの創設を要望された。かねてより、小中学校の部活動の増設の希望はあったが教員の多忙を理由にできないとの返答であった。そこで近隣の大学生など外部の指導員を招き部活動の種目を増やすよう提言していたため、要望書を提出し会派の代表質問でも取り上げ要望した。5年生のペアが全国大会に出場することとなり、活躍も目覚ましいジュニアバドミントンクラブの継続的な支援ができるよう今後とも働きかけを続けていく。

公園の安全な利用ができるよう改善を求める要望

戸田谷公園にてサッカーをしていた児童たちのボールが誤って園外に蹴りだされ隣接する集合住宅駐車場の車両に当たり所有者とトラブルになった。このトラブルにより、ボールの飛び出しが怖くてボール遊びができなくなってしまったため、近隣の保護者より安心して利用できるような公園の改善を要望された。要望書を提出し、会派代表質問でも取り上げ、公園の利用のすみわけの勧奨や事故等への啓発、公園施設の改修等を要望した。その後小中学校の保護者に向けて事故等の危険性を啓発する文書が配布された。今後とも子どもたちが安心して公園を利用できるよう働きかけていく。

平成29年度予算編成に対しての要望

暮らし関連予算

- ・未整備校区の共生ステーションを地域格差がないよう早急に整備すること
- ・コミュニティ助成金の支給方法を見直すこと
- ・ゴミ出しの指導を徹底し、排出者の責任を明確にすること
- ・杣ヶ池体育館の維持管理費を増額し、破損箇所の修繕を早期に行うこと
- ・古戦場公園再整備においてARアプリなど最新技術を採用した展示方法を検討すること
- ・リニモやN-バス等での障がい者(児童生徒を含む)の移動支援の拡充を図ること

障がい福祉関連予算

- ・公園トイレの多目的トイレ化を促進すること
- ・授乳期の乳がん検診の実施を可能にすること

教育関連予算

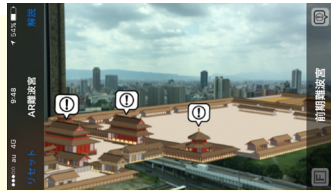
- ・スクールソーシャルワーカーを各学校に配置すること
- ・学校図書や図書館に優良漫画を導入するなど図書の充実を図ること
- ・市内の全小学校敷地内での放課後子ども教室の設置を求める
- ・N-バスのスクールバス利用を可能にすること

他

視察報告

7月の視察は自家用車を使い、大阪市歴史博物館、人と未来防災センター（神戸市）、明石市役所、姫路駅前広場を視察してきました。

大阪市 大阪歴史博物館



大阪市の「難波宮跡と大阪城公園の連続一体化構想」の一環として建設されました。大都市大阪市の中心にありながら、645年の難波遷都時代の遺跡、史跡を見て触れる体験型の展示手法やAR(Augmented Reality) = 「拡張現実システム」の技術も導入した近代的な展示手法を行っています。「AR難波宮」(右上写真)というアプリケーションを自身のスマートフォンやタブレット端末へダウンロードすると、博物館から望む難波宮遺跡発掘現場や隣接する公園の現代の風景上に古代の建物が出現し当時の都を目の当たりに感じることができました。ただ展示物を置き「見せる」のではなく、アクティブに表現をした「魅せる」展示でした。海外からの観光客にも対応するため語学の堪能なボランティアガイドの素晴らしい対応が印象に残りました。

長久手市へのフィードバック

「小牧・長久手の戦い」は野戦が主であり、室内展示では表現できない戦いの場面を、AR等の最新の技術を導入することで、動く「小牧・長久手の戦い」として「魅せる展示」にしていけないかを提案しました。

兵庫県明石市

明石市では、子どもの健やかな育ちがみんなの元気を生み出すと位置づけて総合戦略を描いたところ、人口の増加、地価の回復、基金の増加など明るい兆しが見えました。この流れを加速するため「もっと住みたい・住み続けたいまちへ人口30万人、赤ちゃん3,000人、本300万冊」と「明石のトリプルスリー」を目標に掲げています。近隣市と人口の奪い合いにならないよう出産数を増やして人口増を目指すため、保育料の第2子以降完全無料など充実した子育て支援を実施しています。お子様連れで市役所に来られる方が安心して相談や手続きをしていただけるよう、一時預かりする保育ルームを設置するなど、支援が必要な人に必要な支援ができるセーフティネットの確立にも全市を挙げて取り組んでいる様子が伺えました。

長久手市へのフィードバック

長久手で永住したい、第2子、第3子を生み育てたいと思えるようなまちにしたい。支援が必要などころにきめ細かな配慮と、ニーズに迅速に応えるために、ピンポイントな支援をすることで、住みやすさにつながる施策を提案していきます。



議会報告会

会派の議会報告会を交流プラザで開催しました。『平成29年度予算要望』『会派への要望』『大阪・明石への会派視察』の報告後に意見交換をさせていただきました。

Q.長久手市の安全について。

A.防犯対策として、防犯カメラ設置、防犯パトロールなどコミュニティの努力で犯罪件数は減った。愛知県建て替えて平成30年には2.5倍のフロア面積となり警察力強化が期待できる。

Q.古戦場公園はどうなるのか。

A.長久手古戦場公園は「小牧・長久手の戦い」の主戦場跡地であり、本市を代表する史跡・名所であり国指定の文化財にも史跡指定されています。新しい街区の開発と本市の歴史と文化を活かした新しい観光として華やかな博物館にするのではなく、「小牧、長久手の戦い」の展示を軸とした展示、体験施設としていきたい。

Q.田園バレー事業がここ数年後退しているようだがどうか。

A.田園バレー事業によって育ったあぐりん村、農学校、平成子ども塾は長久手を代表する事業だと考えている。しかし、職員の不足により、ほころびが見られる。会派としては、マスタープラン通りに進むよう軌道修正するよう訴えるとともに、人員の増員を要望した。

Q.白針交差点周辺の道路の拡幅整備について。

A.瀬戸大府線開通後は抜け道になること、イオン、イケアの開店もあり、交通量の増加は避けられないと考える。拡幅が進むように会派として働きかけていきたい。



ご意見やお困りごとがあれば、お気軽にご相談ください。

長久手市議会会派

長久手グローバルネット

mirai@nagakute-global.net

発行責任者: 佐野尚人 長久手市議会議員
〒480-1114 愛知県長久手市長配1丁目707番地2

長久手グローバルネット 検索

<http://nagakute-global.net>